

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教育機能と就学支援の充実		事業実施主体	市
	事務事業	遠距離児童・生徒等通学費助成事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	離島及び合併前の塩江町・香川町区域内の通学が困難な地域から通学する児童生徒の保護者、また、小学校の統合によって従前より通学距離が延長となる児童の保護者に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、児童生徒の安全及び保護者負担の軽減を図る。				
6年度概要	【小学校】遠距離児童通学費補助金の交付及びスクールバス運行業務委託（塩江・庵治） 【中学校】遠距離生徒通学費補助金の交付及びスクールバス運行業務委託（塩江）				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

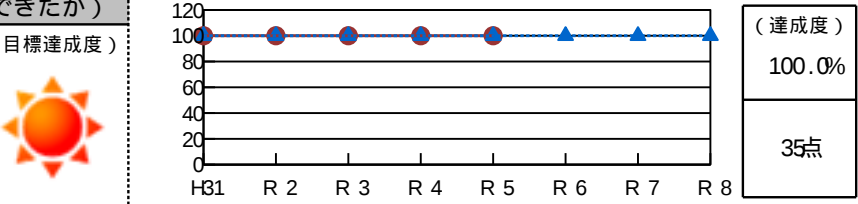
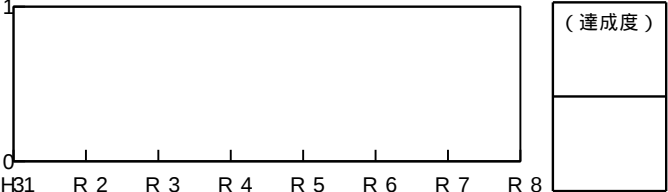
【事業の目的】

対象（何を）	離島及び合併前の塩江町・香川町区域内からの遠距離通学児童生徒の保護者を対象に実施。				
意図（どのような状態にしたいか）	遠距離児童等の保護者負担を軽減するとともに、児童生徒の登下校の安全確保を図る。 通学費補助率＝通学費補助児童生徒数／通学費補助対象児童生徒数				

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
通学費補助件数	件	11	9	10	10	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	通学費補助率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 教育環境の均等化が図られる本事業の実施により、義務教育の円滑な実施が図られ目標どおり達成できた。 (目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	28,446	25,522	24,761	39,906
（事業費）	〔円〕	25,426	22,528	21,750	36,895
（職員人件費）	〔円〕	3,020	2,994	3,011	3,011

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 申請窓口となっている学校の事務負担の軽減を図るために、対象者の把握等について、学校との連携を密に行う。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	学校教育課
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-839-2616
	基本事業	教育機能と就学支援の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	教育資金支援事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	成績優秀かつ向学心あう盛な生徒であって、経済的理由のため進学困難な者に対し、奨学金を支給するとともに、高等学校等へ進学を希望する生徒の保護者で、入学準備金の調達が困難な者に対し、入学準備金を貸し付け、教育の機会均等に努める。また、大学等へ進学した者の保護者で、入学資金融資制度を利用した者に対し、利子補給を行い、保護者の経済的負担の軽減を図る。				
6年度概要	奨学金の支給 入学準備金の貸付 大学等教育資金利子補給				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

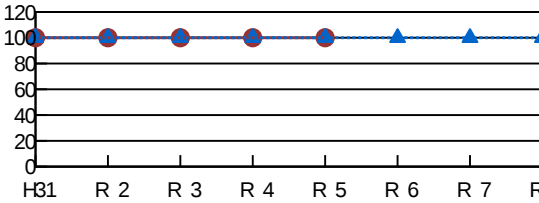
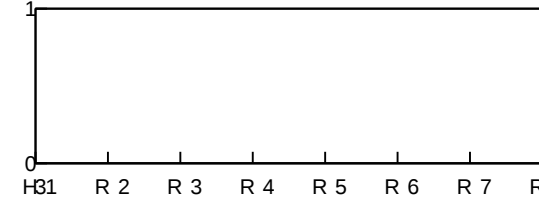
【事業の目的】

対象（何を）	経済的理由のため就学困難な者
意図（どのような状態にしたいか）	就学を希望する者が経済的理由で、その機会を失うことがないように就学の機会を与える。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
奨学金支給人数	人	208	208	245	190	190

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	高松市の奨学金受給希望者の高等学校等の進学率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
								
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 就学者の経済的負担が軽減され、教育環境の充実に結びつき、目標どおり達成できた。 (目標達成度)		(達成度) 100.0% 35点						
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
								
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)		(達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	27,707	29,755	28,681	31,020
（事業費）	〔円〕	23,932	26,013	24,917	27,256
（職員人件費）	〔円〕	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 目標を概ね達成することができ、事業の目的に合った実施を行うことができている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 例年広報誌やHP、学校を通じて制度の周知に努めているが、申請者は年々減少しており、制度そのものが市民ニーズに合致しているかどうか検討する必要がある。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	IC教育推進室
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	087-811-2167
	基本事業	教育機能と就学支援の充実		事業実施主体	市
	事務事業	教育ＩＣＴ整備・活用推進事業		事業期間	平成 30年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	小・中学校の普通教室に電子黒板を設置する等、教育ＩＣＴの環境を整備するとともに、情報教育推進パイロット校での調査研究をもとに、各校での授業におけるＩＣＴ活用を促し、情報活用能力の育成やアクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善を推進する。				
6年度概要	電子黒板の運用管理 G I G Aスクール構想に伴う校内ネットワーク及び一人一台端末の運用管理 I C Tサポートスタッフの派遣 I C T支援員の配置 G I G A端末持ち帰り本格運用				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	

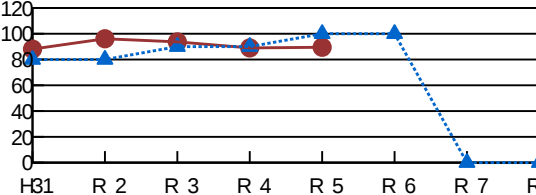
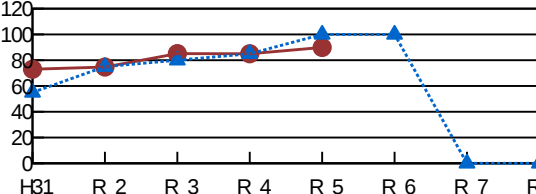
【事業の目的】

対象（何を）	市立小・中学校の児童生徒及び教員
意図（どのような状態にしたいか）	電子黒板やG I G Aスクール構想によって整備した1人1台端末などを活用し、教員のI C T活用に係る指導力の向上を図るとともに、より多彩な指導により、児童生徒の学習意欲の向上や情報活用能力、思考力、判断力等の育成につなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
普通教室への電子黒板の整備数	教室	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
	I C Tを活用した授業を分かりやすいと回答した割合	%	目標値	90	90	100	100	100	
			実績値	93.7	89	89.5			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 研修やI C Tサポートスタッフ派遣及びI C T支援員の配置、各学校での実践紹介等により、教員のI C T活用能力の向上に努めたが、電子黒板や一人一台端末等、I C Tを活用した授業が日常化していることから、実績値が目標値を下回る結果となった。	（目標達成度） 							（達成度） 89.5% 31点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5	
	教員の授業でのI C T利用率	%	目標値	80	85	100	100	100	
			実績値	85.1	85	89.9			
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） G I G Aスクール構想により整備した一人一台端末の本格運用や、小・中学校全ての学年の教室に整備した電子黒板の活用推進及びI C Tサポートスタッフ派遣、I C T支援員の配置により、昨年度より実績値が向上したが、目標値を下回る結果となった。	（目標達成度） 							（達成度） 89.9% 31点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	204,724	235,853	255,041	308,253
（事業費）	〔円〕	189,624	220,885	239,987	293,199
（職員人件費）	〔円〕	15,100	14,968	15,054	15,054

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
研修の実施や、I C Tサポートスタッフの派遣及びI C T支援員の配置による支援等を実施することで、教員のI C T活用頻度が昨年度に比べ向上したが、依然、教員のI C T活用指導力の差が見られ課題となっている。 今後も、昨年度開始した端末持ち帰り本格運用やI C Tサポートスタッフの派遣及びI C T支援員の配置により、一人一台端末の日常化を図り、児童生徒の情報活用能力の育成を進めていきたい。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
授業で電子黒板や一人一台端末等のI C T機器を高い頻度で活用するとともに、今年度開始する端末持ち帰り本格運用を通して、I C T活用の日常化を図り、児童生徒の情報活用能力を育成する。			

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	高松第一高等学校事務局
	施策	学校教育環境の整備		電話番号	
	基本事業	教育機能と就学支援の充実		事業実施主体	市
	事務事業	高等学校 I C T 環境整備事業		事業期間	令和 4年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松第一高等学校における I C T 環境の整備を進め、教育環境の充実を図る。				
6年度概要	生徒 1 人 1 台端末の整備を進める。				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

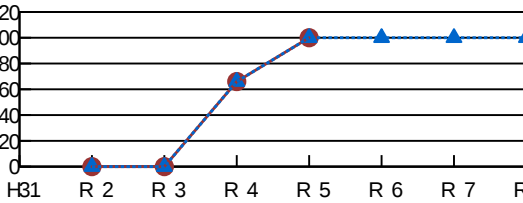
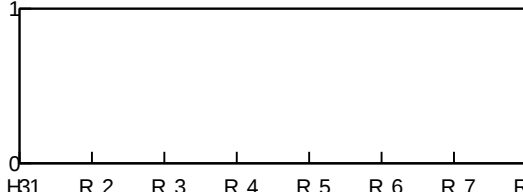
【事業の目的】

対象（何を）	生徒
意図（どのような状態にしたいか）	生徒 1 人 1 台端末（タブレット端末）を整備することにより、学校及び家庭での学習が効率的で効果的なものとなる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
生徒 1 人 1 台端末導入台数	台	0	524	787	789	789

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5			
	生徒 1 人 1 台端末の導入率	%	目標値	0	66	100	100	100			
			実績値	0	66	100					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								(達成度) 100.0%		
	全校生徒に一人一台端末の導入が完了した。		(目標達成度)								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5			
			目標値								
			実績値								
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								(達成度)		
			(目標達成度)								

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	0	48,251	23,186	8,457
（事業費）	〔円〕	0	33,283	8,132	8,457
（職員人件費）	〔円〕	0	14,968	15,054	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
生徒 1 人 1 台端末の整備を進めた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
全校生徒がタブレット端末を活用した学習に取り組めるように生徒 1 人 1 台端末の導入を実施する。			